美弥子は夢を見た。
美弥子は森の中を歩いていた。
森の奥には、レストランがある。
美弥子はおいしそうな匂いに惹かれて、扉の前に立った。
重厚な扉は、見かけとは裏腹に音もなく開き、美弥子を吸い込む。
出迎えたのは、大勢のホワイトフモフスキ達。
初めに、美弥子が『肉をくれ。』と仰せられた。
すると比較的毛足の長いホワイトフモフスキが肉を持ってきた。
美弥子はその肉をよしと見られた。
こうして夕があり朝があった。第一日。
「お嬢さん、焼加減はいかが致しましょう。」
そう尋ねたのは、料理長。くちばしの赤い、ギンゲルタンうぐいす伯爵。
「焼加減？そうね。ウェルカムで。」
店に静寂が走る。
しまった。ウェルダンって言うはずだったのに。美弥子は後悔した。
ウェルカム？それはこっちのセリフだ。この女、バカだな。
ギンゲルタンうぐいす伯爵はニヒルにコムラ返った。
ふとテーブルの上のコショウ挽きに、美弥子は目を奪われた。
私だ。
このコショウ挽き、私の顔をしている。
このコショウ挽き、ガリガリ回す部分に私の顔が乗っている。
いや、違う。コショウ挽きではない。コケシだ。
私の顔をしたコケシだ。
コケシ「…」
何か呟いている。私の顔をしたコケシが何か呟いている。
コケシ「…せ」
は？
コケシ「…か…せ。」
何？聞こえない。
コケシ「…と……か……せ。」
…とかせ？溶かせ？融かせ？解かせ？説かせ？梳かせ？熔かせ？鎔かせ？どれ！？変換多すぎよ！
コケシ「…と……か…せ。」
とかせったって、何を？
コケシ「…と……かせ。」
わ、わかった。とりあえず、とかせばいいのね、とかせばいいのね。
コケシ「…男泣かせ。」
次の瞬間、美弥子はガリガリとコショウを挽いていた。
そこで夢は終わる。夕があり朝があった第二日。

電動夏子安置システム　#002『霜降りが融けるまで』

目覚めた美弥子はカフェで朝食を採る。
店員が肉を持ってきた。
白い皿に横たわった鮮やかな赤。
霜降りのお肉。
美弥子は無意識にそれを咥えていた。
脳裏にリフレインする、コケシの声。
「とかせ。」
美弥子は反芻しだした。
こうして日が暮れ、夕があり朝があった。第三日。

―― デンナツ・サーガ　序章第二節『天恥創造』――

公演直前深夜、あるホームページのチャットルームにてスタッフ会議。
その中でいろいろなスタッフが、役者をさかなに無駄話。今回はその一部を掲載いたします。

１：渡辺美弥子

マイマイ　＞ 大学入学した年の秋から知ってんだけど、変わってないんだよな。はちゃめちゃぶりとか(笑)
FLIP-TOP　＞ 確実に年はとってるんだけどね。今度の月曜卒業だし。
まっつん　＞ 私より年下のクセに先に卒業された。（泣）
マイマイ　＞ 照明家の立場としては、プランのセンスが似てるからその意味では
やりやすい。でも、プランが複雑なところも似てるのは……(^^;
FLIP-TOP　＞ ううむ、照明の出来る女優か。違いのわかる女、美弥子。
マイマイ　＞ 女優としては心強いよね、あれだけのテンションを維持できるってのは。
シュサイ　＞ 私は彼女を東洋一のコメディエンヌに仕立て上げるつもり。
シュサイ　＞ あの人顔立ちがオリエンタルなので西洋一にはなれないの。
FLIP-TOP　＞ こめでぃえんぬ。本人は果たして目指しているのか。
まっつん　＞ 目指していなくても、向かってるのは確か!?
マイマイ　＞ 目指さなくても、地がそうだったり？
シュサイ　＞ ともかく、奴がいなければ私は芝居の世界にはいなかったはず。

２：小原雄平

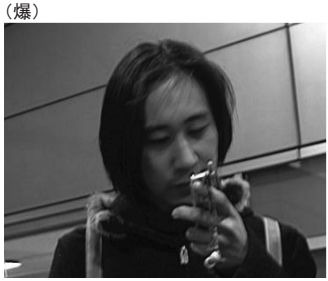
まっつん　＞ 小原君、良い人。サッカー好き。
マイマイ　＞ 電夏でtoto買ってる中で、誰が真っ先に当てるかって言われたら、やっぱ小原君？
FLIP-TOP　＞ でも小原君、なんかtoto買う時も悩みぬいて買うのかなあ。
シュサイ　＞ 虹色の翼を持っているが、それに気づいていない男。
マイマイ　＞ でも、そこがまた、彼の魅力だったりもして？
FLIP-TOP　＞ 気付かない事も才能なのか。
シュサイ　＞ 熟睡したままの獅子
FLIP-TOP　＞ なーんか、本当に熟睡してそう。ちなみに巷では小原さん、女の子に
人気がスゴイらしい。
さ〇しすたー　＞ それ、すごーく分かる気がします＜女の子人気
FLIP-TOP　＞ でもその「女の子にモテている」という現実も、彼にとっては
ナントカの夢なのか。
FLIP-TOP　＞ ヘタすれば一生眠ったままの獅子、オバラ。
マイマイ　＞ それって……秘密のまま終わる秘密兵器と同義語？＜眠ったまま
シュサイ　＞ そのうちファンクラブを設立しよう。
FLIP-TOP　＞ ファンクラブ。会員番号一番は誰？
シュサイ　＞ 俺様。
FLIP-TOP　＞ 全国のオバラファン女性を敵にまわしたな。
シュサイ　＞ 舞監がこの会議に参加できなくて悔しそう。

３：当山慎也

マイマイ　＞ 前回が初舞台とは思えなかった。
FLIP-TOP　＞ 本番になると人間が変わる。
マイマイ　＞ 本番前の緊張がたまらなく楽しいらしいよ。
シュサイ　＞ 上昇志向は強いから鍛え上げれば・・・化ける・・・はず。
FLIP-TOP　＞ でも総じて、「勢いの人」かな。いやこれは悪い意味じゃなくて。
FLIP-TOP　＞ そういやアイツ、ウチで酔っ払って寝てた時の写真あるよ。
さ〇しすたー　＞ わざわざ撮ったんですか？
FLIP-TOP　＞ あん時、１２時間も寝てたんだよ。これもある意味すごいイキオイ。
FLIP-TOP　＞ 撮った撮った。マイマイさんと一緒にゲラ笑いしながら。
マイマイ　＞ あの寝っぷりには感動した！
さ〇しすたー　＞ 眠る行為にも“イキオイ”（爆）

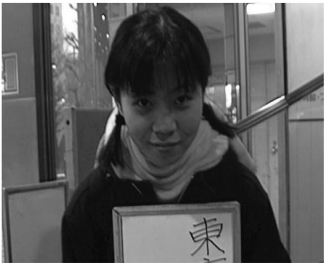
４：中川崇宏

シュサイ　＞ ５年以内には彼に座長を任せて作家に専念したいですな。
さ〇しすたー　＞ ・・・おおきいひと（爆）
FLIP-TOP　＞ 脱線しても隣のレールを走っていって、名古屋あたりで気づく人。
シュサイ　＞ 私の左脳が高松で、右脳が中川。
FLIP-TOP　＞ じゃあ、シュサイは何処にいるんだ？
シュサイ　＞ お客様の心の中に。
まっつん　＞ くさ
FLIP-TOP　＞ なんだこいつ一人だけエエカッコシイ。



５：道井良樹

マイマイ　＞ 最年少、なんだよね？＜道井君
まっつん　＞ 彼っていくつ？
FLIP-TOP　＞ 21歳。
シュサイ　＞ テンションあがった時、俺と動きが似る。
マイマイ　＞ 主宰似の動きと小原君似の声。
FLIP-TOP　＞ いや、小原君が声似せている。こないだ物陰で練習してた。
さ〇しすた ー　＞ 初めてあのローレンスを見たときはなかなかショックでした（笑）
FLIP-TOP　＞ 彼のいい所は，物怖じしない事かな。だから勢いがある。ヘタすると
大変な事になるけど。
シュサイ　＞ 俺も練習してる。
FLIP-TOP　＞ だれかこのシュサイを殴れ！



６：狩野智子

マイマイ　＞泣かないでね＞狩野
まっつん　＞最近、いつも泪目、鼻真っ赤。花粉症仲間。辛い。
FLIP-TOP　＞いや、その涙ではないのだ、よね。＞マイマイ
シュサイ　＞まぁ、反省会を楽しみにしましょう。
マイマイ　＞そうそう。あの場にいなかったまっつんには、教えない(笑)
シュサイ　＞とりあえずまた池袋の駅でのあのシーンをもう一度。
FLIP-TOP　＞イヤだ。丸い柱見るとトラウマでサブイボが立ちます。
シュサイ　＞２０世紀思い出のワンシーントップ１０にランクインしてるのに。
FLIP-TOP　＞ささ、狩野さんはまあ「お騒がせ女優」って事で、次に行こう。
（アセアセ）
まっつん　＞なんか、くやしいぃ！　o(＞＜)o
マイマイ　＞こんなんでいいのか？＜狩野

７：高松亮

FLIP-TOP　＞この男、前回公演で「足が綺麗」と大評判。
マイマイ　＞電夏の看板女優！＜高松さん
シュサイ　＞５年以内には彼に演出を任せて作家に専念したいですな。
FLIP-TOP　＞看板女優って。モノホンの女優の立場は？
マイマイ　＞次元が違うから……＜看板
まっつん　＞女優としての存在感はＮＯ１！
FLIP-TOP　＞まあ確かに無駄な肉の無いスリムで綺麗な脚線美だったらしいね。
シュサイ　＞高松はね、ミラクル体質なんです。時々、黄金の一発をやらかします。
シュサイ　＞今日もパネルで蛍光灯を破壊しました。
マイマイ　＞またそんなことを……面白すぎる、高松さん。
シュサイ　＞これから４日間、数々の奇跡をおこします。ご注意を。
FLIP-TOP　＞とにかく照明を壊したりするから、眼を離しちゃいけないって事だな。
マイマイ　＞落ちたり、転んだりにも注意ですね。

８：小笠原千怜

FLIP-TOP　＞俺は中学生の制服があんなに似合うなんて思わなかった。
シュサイ　＞ブルセラショップ〇〇
FLIP-TOP　＞お前がそれ言うなしかも実名で。このヒモジゴロシュサイ。
マイマイ　＞俺も見たけど、ビックリするくらい似合ってた。
シュサイ　＞演出家に正面から食ってかかる、気骨のある女優。もはや武人の域です。
マイマイ　＞演技にもその「気骨」が現れてる！
FLIP-TOP　＞骨の太い女優。健康そうだ。
マイマイ　＞舞台のカルシウム。
FLIP-TOP　＞でも前回の美弥子も戦士だったし、今度は武人。ウチの女優はそんなんばっかりか。
まっつん　＞牛乳たくさん飲んでるのかな。（殴）
シュサイ　＞関係ないけど、舞監がいじけてる。じぶんはアナログ人間だって。
シュサイ　＞ひとりでカップラーメン食ってるらしい。
シュサイ　＞冷蔵庫にほうれん草のおひたし発見だってさ。よかったね。
FLIP-TOP　＞あ、いいなー。＞おひたし
さ〇しすたー　＞がんばれ舞監（笑）

９：遠藤夏子

シュサイ　＞５年以内には彼女に主宰を任せてホテル経営に専念したいですな。
マイマイ　＞なんか、すごいんだけど、わかんない(笑)＜なっちゃん
まっつん　＞不思議。彼女のためにある言葉。
FLIP-TOP　＞ええ？！ホテル帰っちゃうの＞シュサイ
シュサイ　＞５年以内にはホテルを売却です。
まっつん　＞電夏にはやくも暗雲が立ち込める!?
シュサイ　＞電動夏子は彼女がいないとね。今のところ名誉主宰だから。
マイマイ　＞まじめに不思議だし、不思議にまじめだと思うのは、俺だけ？
シュサイ　＞天然に見えて実は計算高い女なのですよ・・・。
FLIP-TOP　＞計算高い女・・・すっごい似つかわしくなさそうな言葉だ、一見。
マイマイ　＞でも、計算高いというか、研究熱心だな、と思うことは稽古見ててあったかも。

10：竹田哲士

FLIP-TOP　＞で、最後のお話。各自、シュサイの悪口を言ってめいめい逃げましょう。
まっつん　＞あなた、いくつ？
マイマイ　＞あまり面白いことをやると笑いすぎて照明のきっかけ飛ばすので
ほどほどに(笑)
まっつん　＞電夏の謎はシュサイの年齢にあったりもする。
FLIP-TOP　＞とっとと売れて、皆を食べさせて欲しいモノだ。

『ホームレス』

ホームレスを登場させるにあたって、文献を色々と読みあさってみて、後悔した。
これは深すぎる。深すぎて描き切れない。これが描けるくらいなら、私はこんな劇団の座付きなんかやってる場合じゃないだろ。本をいくら読んだところで、彼らを理解できるわけが無い。理解できたとしたら、それはあくまで一側面に過ぎない。
以前、女優の美弥子が、ダンボールを小脇に抱え、『役作りしてくる』と野宿を敢行しようとした時、必死になって止めた。彼らの気持ちになってみるか？寒空の下、野宿するか？２、３日、一緒に暮らしてみようか？—いや、それは真面目に（？）ホームレスをしている方々に失礼だ。２，３日外にいたからどうなる。我々には家がある。飽きたら帰るのか？寒くなったら帰るのか？そんな覚悟で理解できるはずが無いのだ。
そんな私達がホームレスの話を作る。それでリアリティのある芝居ができるか？正直自信は無い。だから、敢えて、彼らのすべてを表現しようとは思わない。一側面。
ココに登場する家無しは、皆、『ハレ』ている。見た目は汚れたホームレス達の『ハレ』の部分。そこだけの表現。この作品は、何ら社会性のあるメッセージを持っているわけではない。だから、深いようで浅い、そんなお話。

～作家のそんなお話～
作家自ら『霜降りが融けるまで』を読み解くキーワードについて語っております。

『足長おじさん』

言わずと知れた、ウェブスター女史の小説ではあるが—
先日、知人の芝居を見た帰りの山手線で、原宿から乗ってきた老人が、俺に向かって話し掛けてきた。
『アナタみたいな若い人は、毎日楽しいでしょ。』（そんなこともないぞ）
『お勤めしてるんですか？』（自由業の俺様に喧嘩売ってんのか）
『何。合コンの帰り』（一人きりで合コンの帰りって、何かイヤね）
初めは無視していた俺も、矢継ぎ早な質問に渋々付き合う。
ジジイは散々、今の若者の堕落ブリと、首相の悪口と、景気の悪さを愚痴った後、最後にこう呟いた。『—アナタ、何だか余裕がありますよね—』
そして新宿で『それじゃぁね』と言って、降りるのかと思いきや空いた席にズカズカと座って眠ってしまった。おいジジイ。おきろ。俺はほったらかしか。こら。
最後の台詞、耳に残る。
そんな台詞を書いた覚えがあったから。
劇中、足長おじさんがこう呟く。『—アナタ、なんだか余裕がありますよね—』
あのジジイはきっと私の足長おじさんだ。そうに違いない
ジジイ、俺にもめぐんでくれ。そしていつか合コン行こうな。
そんなお話。

公演データ

電動夏子安置システム第２回公演『霜降りが融けるまで』

脚本／演出：竹田哲士
日　　時：2001年03月23日(金)～25日(日)（全５回）
会　　場：『神楽坂die pratze』
　　新宿区西五軒町2-12／03-3235-7990

出　　演：渡辺美弥子　中川崇宏　高松亮　狩野智子　小笠原千怜　小原雄平
　　道井良樹　当山慎也　竹田哲士　遠藤夏子（明大劇研）
演出補助：高松亮
音　　楽：榊原正吾
照　　明：今井昌史　松平信維　渡辺美弥子
舞台監督：佐藤貴之
衣裳原案：狩野智子
衣　　裳：喜多悠
宣伝美術：オフィス FLIP-TOP
映　　像：As Works PROJECT
企画制作：村上朋弘（オフィス FLIP-TOP）
協　　力：大岩　功／岡部一美／喜多爽／塩田俊行／鈴木敬／竹本絵里香
・　　牧田和臣／山口佳子／明治大学演劇研究部